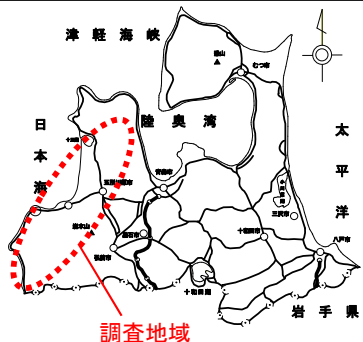


被災自治体への技術支援 ～災害緊急調査～【青森県 (R4.8.22～23)】

- 国土交通省の災害査定官が赴き、災害復旧の迅速化に向け、被災自治体に対して復旧方針・工法等の技術的支援・助言を実施
- 要請のあった青森県において計8ヶ所(県管理施設6ヶ所、鰯ヶ沢町管理施設2ヶ所)の災害緊急調査を実施
- 現地では、予定していた箇所以外(中泊町など3ヶ所)においても様々な助言を行った



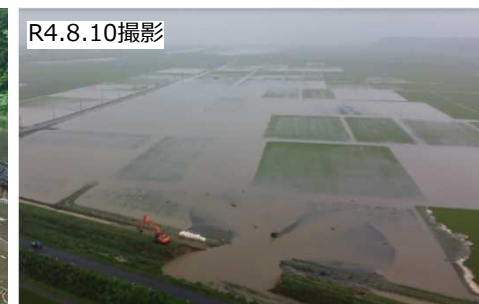
二級河川中村川



国道101号(北金ヶ沢)



二級河川追良瀬川(町道松原1号線)



一級河川岩木川水系中里川

■災害査定官による主な助言内容

【青森県管理施設】

- 二級河川中村川
 - ・傾倒した護岸については、背面だけでなく前面に袋詰玉石や大型土嚢等により欠壊防止を図ること
 - ・越水した区間については、下流における事業の状況や採択要件等をふまえ、改良事業で対応が可能か検討すること
- 国道101号(北金ヶ沢)
 - ・ボックスカルバートとする場合の断面決定の根拠を整理しておくこと
 - ・仮設の切り直し道路が必要であれば、応急工事で実施しても問題ない
- 国道101号(黒崎)
 - ・対策工法は安定勾配で路面処理をする場合、雨水の流末処理等を含めて検討すること
 - ・必要な用地については査定までに取得の意向を伝えて承諾を得ておくこと
- 二級河川追良瀬川
 - ・応急仮工事は決壊防止として孤立集落の解消に必要な道路幅員を確保できるよう施工して良い
 - ・先行して実施した瀬替えは応急本工事として計上できる
- 一級河川山田川(田光沼)
 - ・被災メカニズムを越水かパイピングによるものかを整理し、関連による脆弱部の改良も検討すること
- 一級河川中里川
 - ・被災メカニズムを整理し、被災原因の除去についても検討すること
 - ・前後区間の漏水箇所を含む脆弱部の復旧には、関連や推進費を視野に入れて検討すること

【鰯ヶ沢町管理施設】

- 開晴橋(町道山子線)
 - ・橋梁全体の健全度調査をおこない、被災の範囲を把握すること
 - ・構造令に適合させるため、関連で実施する事も可能なので検討すること
- 町道赤石溪流線
 - ・兼用護岸については袋詰玉石や大型土嚢で応急仮工事を行なっても問題ない
 - ・現状で被災確認が取れていない箇所は啓開を進め調査を行い、進捗状況に応じて防災課へ相談すること

【中泊町管理施設】

- 下前海岸2号線
 - ・工法選定に伴い発生する用地買収費は計上できるが、比較表で必要性を整理し説明できるようにすること



緊急調査状況(開晴橋(町道山子線))



緊急調査状況(二級河川中村川)



緊急調査状況(中泊町役場にて)
※当日に急遽追加された箇所においても対応



緊急調査状況(山田川(田光沼))